

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年12月17日

計画の名称	丹波市における快適な生活環境の実現													
計画の期間	令和02年度 ~ 令和04年度 (3年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	丹波市													
計画の目標	河川事業による浸水対策を推進することにより、安全・安心な暮らしを実現する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		149	A	149	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R4末)
1	河川において河床掘削等による河道整備率を19%向上させる。 護岸整備、橋梁架替、河床掘削による河道整備率 河道整備延長 / 河道整備全体延長	20%	36%	39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R02	R03	R04	R05	R06						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
その他総合的な治水事業	A08-001	総合治水	一般	丹波市	直接	丹波市	準用	-	一級河川由良川水系準用 河川水上川総合流域防災 事業	河川改修L=1,355m、橋梁架替 N=4橋	丹波市						149		-			
												小計						149				
											合計						149					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 丹波市建設部による評価	事後評価の実施時期 令和6年12月
	公表の方法 市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和2年から令和4年の整備計画(護岸整備及び橋梁架替)を終え、整備計画全体延長の39.4%が完成しました。 平成30年7月の大雨(時間雨量52mm)では、堤内地に越水被害が発生していましたが、令和5年9月8日の大雨(時間雨量53mm)では越水による被害はありませんでした。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
(準)水上川の整備計画における暫定区間については、今後、(一)竹田川の整備状況に合わせて検討することになります。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	護岸整備による河道整備率	
	最終目標値	39%
	最終実績値	39%